

去年生まれた息子も、早いものでもうすぐ七カ月。先月ぐらゐから離乳食をはじめたのだが、どうもそのころから、

肌が荒れはじめた。乳製品を食べさせたら湿疹が出たりする。さて、どうしたものか。三カ月検診の時、お医者さんから、「離乳食」に関して、

## 離乳食問題を考える

始め方やスケジュールを教わってきたのだが、と思つていたら、家人の祖母がある新聞（東京新聞です）の切り抜きを送ってきた。それを読んで、文字通り、わたしは衝撃を受けたのだ。なんと「母子健康手帳」に書いてあるように、生後五カ月から離乳食を開始すると「アトピー体質になる」と

いうのだ！ 現在、家に赤ん坊がいる皆さん、これって、聞き捨てならんことじゃないですか！

もちろん、怪しげな学者の仮説などでなく、さまざまなたたにに基づいて、このように主張しているのは日本免疫病治療研究会の西原克成会長

だ。なんでも、人の腸は一歳前後で完成するのでそれより早く離乳食を与えるとタンパク質を分解できずに吸収して抗原となりアトピー体質になる、というのである。おそろしいことに、日本でアレルギー症状が増したのは、全国一律に離乳食を早めるよう指導し始めたのと時期が一致し

高橋 源一郎 (作家)

ているのだ。それだけではない。早期の離乳食で乳児がアレルギーを起す可能性が高い、ということとはアメリカ小児科学会や世界保健機関(WHO)も認めているというのである。じゃあ、そんなの止めりゃあいいじゃん、と思うでしょう？ 西原先生は三度も厚生省幹部に早期の離乳食の中止を訴えたそうだ。すると、幹部はこういつたそうである。「離乳食で利益を得ている人が多いので、方針は急に変えられない」。って、これ「薬害」と同じ構図じゃん！

これほどまでに重要な問題なのに、なぜ、他のメディアが騒がないのか、わたしにはわからない。とにかく、わが家では、離乳食は、一歳になるまで中止することに決定！